

報道関係各位

## 「4Kに関する調査2016」

スカパー！では、より多くの人々が4K放送を体験できるようにするため、5月から4K画質の風景映像やスポーツシーンの4Kスーパーロー映像などが会員登録なしで視聴できる無料放送(ノンスクランブル)の「スカパー！4K体験」を開局しました。また、「スカパー！4K映画」と「スカパー！4K総合」は、放送時間を拡大し、24時間放送を開始しています。スカパー！は、今年も放送を通じて、「一度見ると常識になる」高精細な4K映像を盛り上げてまいります。

この度、全国の15歳～79歳の男女が4Kテレビなどの所有についてどの程度検討しているのか、また、4K映像でどのようなコンテンツを楽しみたいと考えているのかについて把握するため、「4Kに関する調査2016」を2016年4月30日～5月4日の5日間で、インターネット調査により実施致しました。(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

### 《4K体験について》

4人に1人が4Kの視聴を体験済み！半数以上は「4K視聴体験してみたい」  
 視聴体験した人の8割は「4Kはフルハイビジョンよりも格段に美しい」と実感  
 「4Kテレビのある家に遊びに行きたい」10代・20代の4割以上

### 《4K対応機器について》

4Kテレビの所有率は1割未満も、「これから欲しい」が5割半  
 10代・20代の1割以上が4K撮影できるスマホを所有  
 4Kスマホが4Kテレビ普及を後押し？4K撮影対応スマホの所有者は4Kテレビ所有意向が高い

### 《テレビの買い替えと4Kの普及について》

テレビの購入で最も重視されるのは「発色や4K対応などの画質面」、次いで「1インチあたりの価格」を重視  
 7割弱が「テレビの価格は安くなった」と実感、「最新モデル・最高性能にこだわりたい」は4割強  
 4Kテレビは成功する？消費者目線では「成功する」が優勢、3割は「そろそろ買いごろ」と判断  
 半数以上が「次の買い替え時は4Kテレビを検討」  
 もうすぐ買い替え時期が到来？テレビ所有者の4割強は「2010年～2011年」に購入したテレビを利用中

### 《4Kで観たいコンテンツ・映画・俳優・音楽アーティスト・スポーツ選手 ランキング》

#### -4Kで観たいコンテンツは？-

4Kコンテンツの供給「充実してきた」3割半、「未だ不足」6割半  
 4Kで楽しみたいコンテンツ1位は「音楽ライブ」2位「最新映画」3位「野球」4位「国内ドラマ」5位「五輪競技」  
 10代・20代は「4Kアニメ」、60代・70代は「4K風景映像」や「4K旅番組」を視聴希望

#### -デジタルリマスターで更なる感動体験を！4Kで観たい映画ランキング-

4Kで観たい映画のツートップは「スター・ウォーズ」と「アナ雪」  
 10代・20代の1位は「ハリー・ポッター」、70代の1位は「サウンド・オブ・ミュージック」

#### -4Kで魅力も4倍増し？4Kで観たら熱演・美貌が際立つ俳優ランキング-

4Kでより映える男性俳優は？3位「トム・クルーズ」2位「福山雅治」を抑え、トップに「渡辺謙」  
 男性票は「高倉健」、女性票は「ディーン・フジオカ」にも集中  
 4Kで熱演・美貌がより際立つ3大女優「北川景子」「綾瀬はるか」「吉永小百合」

#### -4Kで伝わるライブ感！4Kで観たい音楽アーティスト・スポーツ選手ランキング-

4Kで音楽ライブを観たいアーティスト 1位「嵐」2位「B'z」3位「SMAP」4位「Mr.Children」5位「EXILE」  
 4Kで活躍を観たいスポーツ選手 1位「羽生結弦」2位「イチロー」3位「錦織圭」4位「浅田真央」5位「本田圭佑」  
 男性は「香川真司」、女性は「五郎丸歩」の活躍を4Kで観たい！

## 調査結果

### 《4K体験について》

- ◆4人に1人が4Kの視聴を体験済み！半数以上は「4K視聴体験してみたい」
- ◆視聴体験した人の8割は「4Kはフルハイビジョンよりも格段に美しい」と実感
- ◆「4Kテレビのある家に遊びに行きたい」10代・20代の4割以上

テレビを週に1日以上見る可能性がある15歳～79歳の男女1,000名(全回答者)に、4K映像(※1)の視聴体験をしたことがあるか、ない場合は体験してみたいか聞いたところ、「体験したことがある」は23.7%とおよそ4人に1人の割合となり、「ないが、体験してみたい」は55.8%と半数を超えました。

また、最近4Kテレビなどで対応している製品も多くなったHDR規格(※2)の映像の視聴体験についても聞いたところ、「体験したことがある」が8.9%、「ないが、体験してみたい」は66.2%となりました。

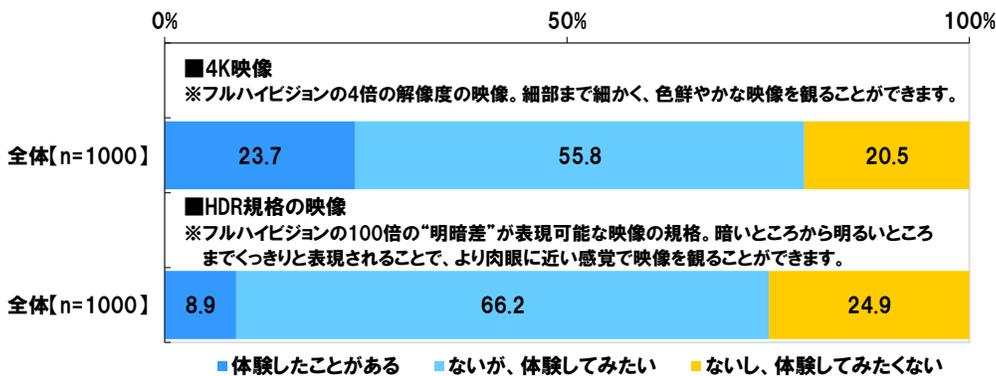
※1・・・フルハイビジョンの4倍の解像度の映像。細部まで細かく、色鮮やかな映像を観ることができます。

※2・・・フルハイビジョンの100倍の“明暗差”が表現可能な映像の規格。暗いところから明るいところまでくっきりと表現されることで、より肉眼に近い感覚で映像を観ることができます。

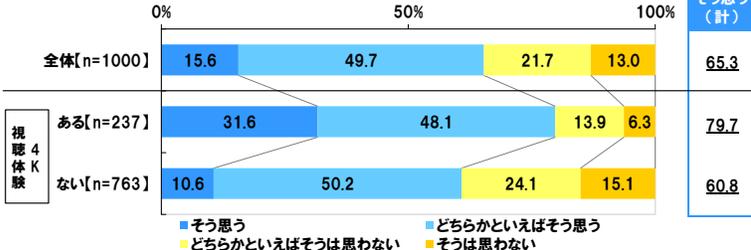
次に、《4Kはフルハイビジョンよりも格段に美しい》と思うか聞いたところ、『そう思う』が65.3%（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計、以下同様）となりました。4K映像の視聴体験がある方は79.7%が『そう思う』と回答しています。4K映像を実際に体験した方は、高精細で色鮮やかな映像表現に驚きと感動を覚えたのではないのでしょうか。

また、《友人が4Kテレビを買ったら、家に遊びに行きたい》と思うか聞いたところ、遊びに行きたいと思う方が29.1%となりました。世代別にみると、10代や20代では遊びに行きたいと思う方の割合（10代44.4%、20代41.0%）が4割を超えました。機会があれば、4K映像を体験してみたいと考えている方が少なくないようです。

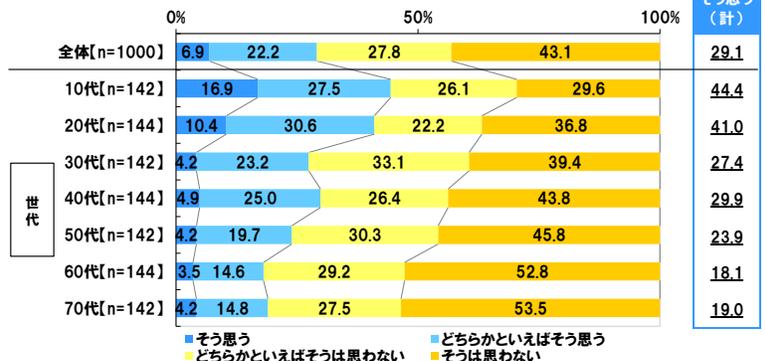
◆視聴体験をしたことがあるか、ない場合は体験してみたいか [各単一回答形式]



◆《4Kはフルハイビジョンよりも格段に美しい》と思うか [単一回答形式]



◆《友人が4Kテレビを買ったら、家に遊びに行きたい》と思うか [単一回答形式]



《4K対応機器について》

- ◆4Kテレビの所有率は1割未満も、「これから欲しい」が5割半
- ◆10代・20代の1割以上が4K撮影できるスマホを所有
- ◆4Kスマホが4Kテレビ普及を後押し？4K撮影対応スマホの所有者は4Kテレビ所有意向が高い

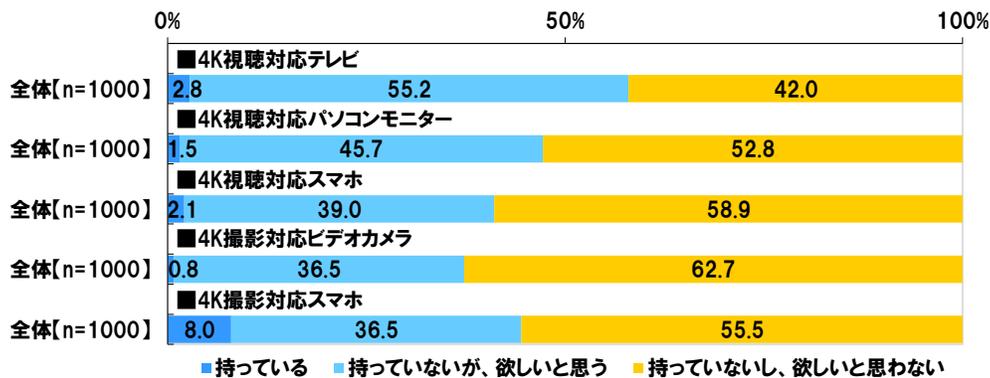
4K対応機器の所有はどのくらい進んでいるのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、4K視聴対応機器を持っているか、持っていない場合は欲しいか聞いたところ、それぞれの機器の所有率(「持っている」の割合、以下同様)は《4K視聴対応テレビ》では2.8%、《4K視聴対応パソコンモニター》では1.5%、《4K視聴対応スマホ》では2.1%となりました。また、所有意向率(「持っていないが、欲しいと思う」の割合、以下同様)は《4K視聴対応テレビ》では55.2%、《4K視聴対応パソコンモニター》では45.7%、《4K視聴対応スマホ》では39.0%となりました。未だ所有率は1割に満たないものの、テレビは5割半、パソコンモニターは4割半、スマートフォンは4割弱の方に所有意向があるようです。

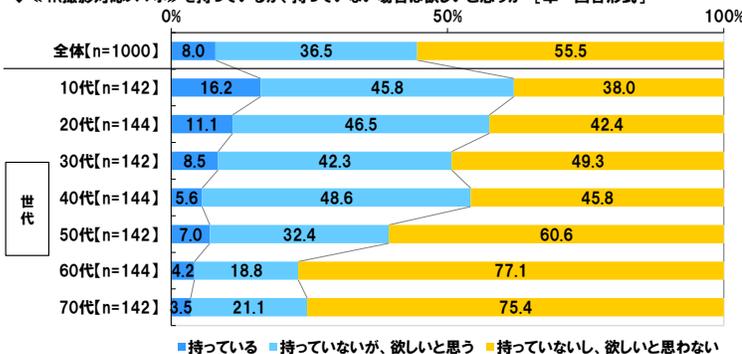
また、4K撮影対応機器を持っているか聞いたところ、それぞれの機器の所有率は《4K撮影対応ビデオカメラ》では0.8%、《4K撮影対応スマホ》では8.0%となりました。質問した4K対応機器の中では、《4K撮影対応スマホ》の所有率が最も高くなっています。世代別に《4K撮影対応スマホ》の所有率をみると、10代は16.2%、20代は11.1%と1割を超え、その他の世代よりも高くなりました。新しいモデルのスマートフォンに機種変更をしたら、いつの間にか4K撮影に対応していた、という方も多いのではないのでしょうか。

さらに、4K撮影対応スマホの所有状況別に《4K視聴対応テレビ》の所有率、所有意向率をみると、4K撮影対応スマホを持っている方は所有率が11.3%、所有意向率が66.3%となり、4K撮影対応スマホを持っていない方の所有率(2.1%)、所有意向率(54.2%)に比べて、それぞれ高くなりました。スマートフォンで4K画質の写真や映像を撮影しているうちに、撮影した映像を大画面で楽しみたい気持ちになり、4Kテレビの購入を検討したり、実際に購入に至ったりするケースもあったのではないのでしょうか。4K撮影機能のついたスマートフォンの利用が広まることで、4Kテレビの普及にも繋がる可能性がみられました。

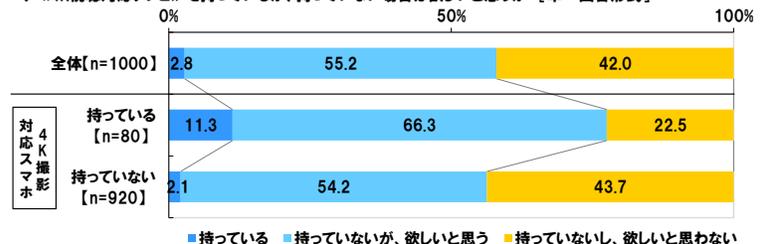
◆4K対応機器を持っているか、持っていない場合は欲しいか [各単一回答形式]



◆《4K撮影対応スマホ》を持っているか、持っていない場合は欲しいと思うか [単一回答形式]



◆《4K視聴対応テレビ》を持っているか、持っていない場合は欲しいと思うか [単一回答形式]



《テレビの買い替えと4Kの普及について》

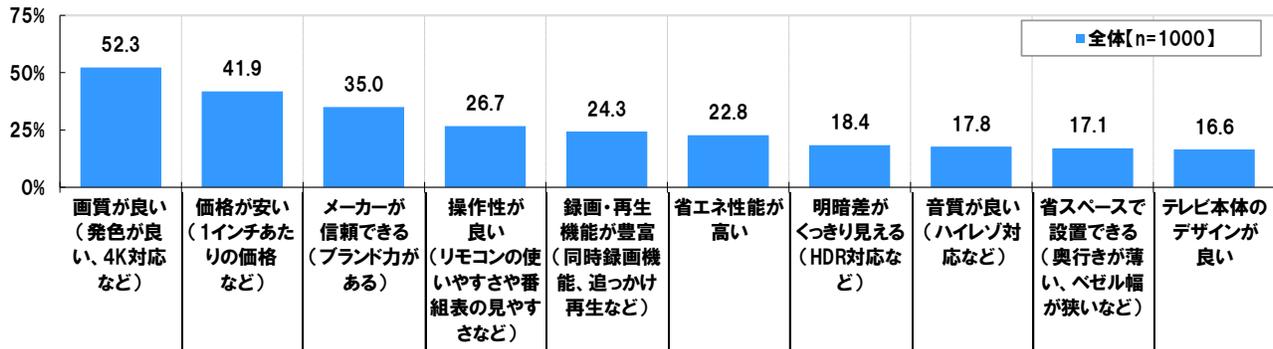
- ◆テレビの購入で最も重視されるのは「発色や4K対応などの画質面」、次いで「1インチあたりの価格」を重視
- ◆7割弱が「テレビの価格は安くなった」と実感、「最新モデル・最高性能にこだわりたい」は4割強
- ◆4Kテレビは成功する？消費者目線では「成功する」が優勢、3割は「そろそろ買いごろ」と判断

それでは、4Kテレビは今後、普及していくのでしょうか。テレビの買い替えや4Kテレビに対して、どのような思いを持っているのか、質問を行いました。

まず、全回答者(1,000名)に、テレビを購入するときに重視するポイントについて聞いたところ、最も重視されていたのは「画質が良い(発色が良い、4K対応など)」52.3%で、次いで「価格が安い(1インチあたりの価格など)」41.9%が続きました。4K対応など、画質の良さを最重視するものの、価格の安さも無視できないポイントのようです。以下、「メーカーが信頼できる(ブランド力がある)」35.0%、「操作性が良い(リモコンの使いやすさや番組表の見やすさなど)」26.7%、「録画・再生機能が豊富(同時録画機能、追っかけ再生など)」24.3%、「省エネ性能が高い」22.8%、「明暗差がくっきり見える(HDR対応など)」18.4%、「音質が良い(ハイレゾ対応など)」17.8%、「省スペースで設置できる(奥行きが薄い、ベゼル幅が狭いなど)」17.1%、「テレビ本体のデザインが良い」16.6%が続いています。

◆テレビを購入するときに重視するポイント [複数回答形式]

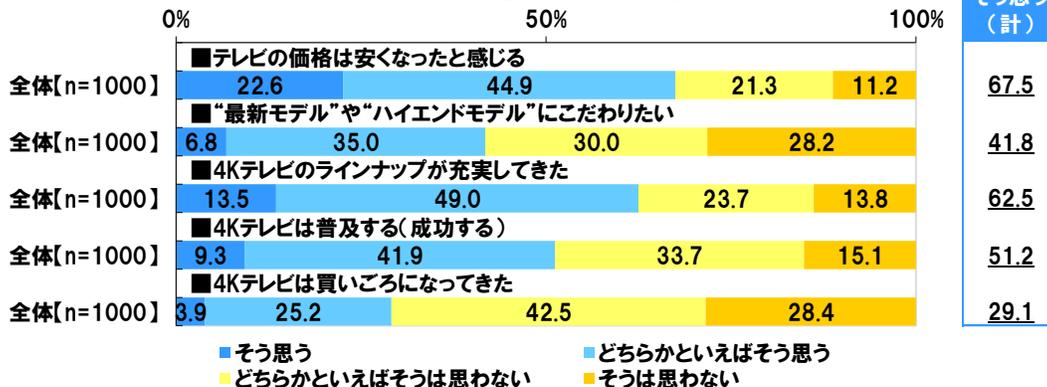
※全体の上位10位までを抜粋



次に、テレビの買い替えに関して、「テレビの価格は安くなった」と思うか聞いたところ、『そう思う』が67.5%となりました。また、「最新モデル」や「ハイエンドモデル」にこだわりたい」と思うかでは、『そう思う』が41.8%となっています。テレビの販売価格が下落傾向にあることを感じている方や、最新の機能や性能にこだわる方が多いようです。

さらに、4Kテレビの状況について、「4Kテレビのラインナップが充実してきた」と思うか聞いたところ、『そう思う』が62.5%、「4Kテレビは普及する(成功する)」では、『そう思う』が51.2%、「4Kテレビは買いごろになってきた」では『そう思う』が29.1%となりました。4Kテレビについて、普及の兆しを感じ、そろそろ買いごろだと判断している方が少なくないようです。

◆テレビの買い替え・4Kテレビの状況についての意識 [各単一回答形式]



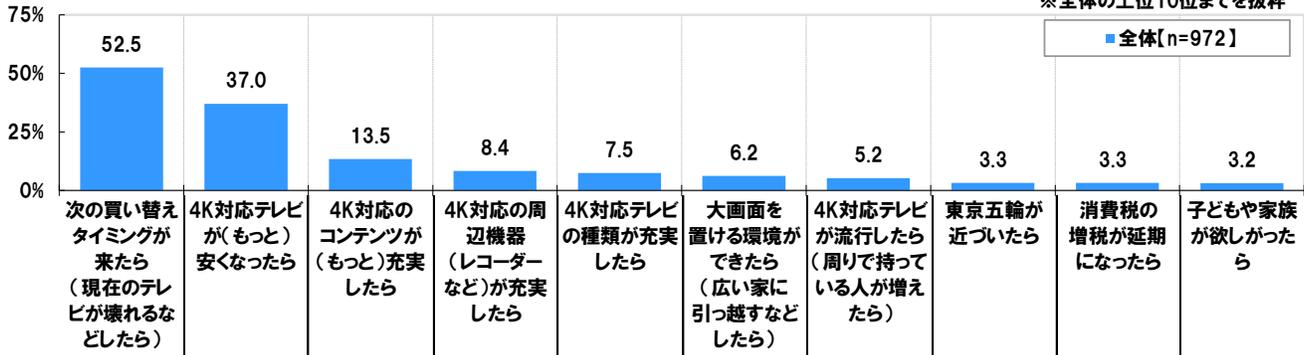
◆半数以上が「次の買い替え時は4Kテレビを検討」

◆もうすぐ買い替え時期が到来？テレビ所有者の4割強は「2010年～2011年」に購入したテレビを利用中

では、どのようなタイミングで4Kテレビの購入意欲が高まるのでしょうか。4K視聴対応テレビを所有していない方(972名)に、4Kテレビが欲しい気持ちが盛り上がるのはどんな出来事があったときか聞いたところ、最も多かったのは、「次の買い替えタイミングが来たら(現在のテレビが壊れるなどしたら)」で52.5%でした。半数以上の方が、次の買い替えのタイミングで4Kテレビの購入を検討するようです。以下、「4K対応テレビが(もっと)安くなったら」37.0%、「4K対応のコンテンツが(もっと)充実したら」13.5%が続きました。

◆4Kテレビが欲しい気持ちが盛り上がるのはどんな出来事があったときか [複数回答形式]

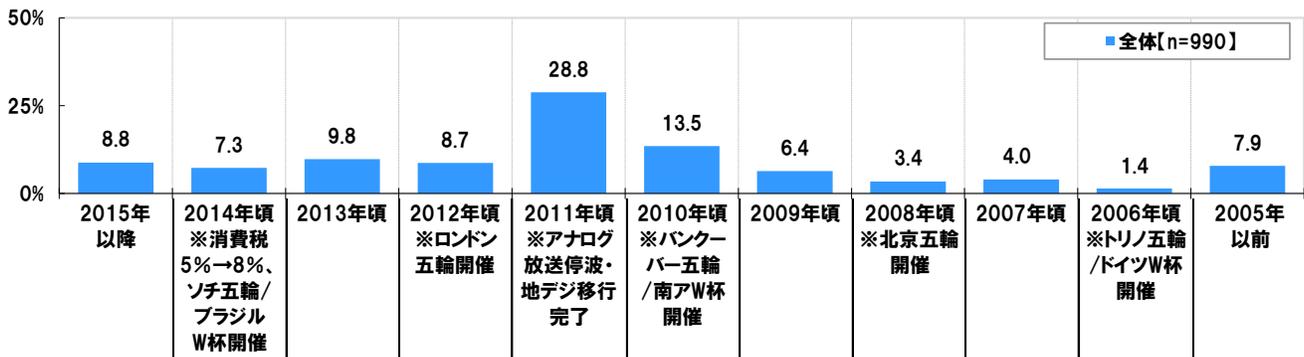
※対象:4K視聴対応テレビを所有していない方  
 ※全体の上位10位までを抜粋



また、テレビを所有している方(990名)に、現在メインで利用しているテレビはいつごろ購入したものか聞いたところ、「2011年頃」28.8%や「2010年頃」13.5%に多くの回答が集まりました。地上波アナログ放送が停波し、地デジへの移行が完了した2011年やその前年にテレビを購入した方が合計で4割強(42.3%)となっています。前回のテレビ購入から5年以上経過しているこれらの方々が買い替えを行うタイミングで、4Kテレビの普及に弾みがつくかもしれません。

◆現在メインで利用しているテレビはいつごろ購入したものか [単一回答形式]

※対象:テレビを所有している人



《4Kで観たいコンテンツ・映画・俳優・音楽アーティスト・スポーツ選手 ランキング》

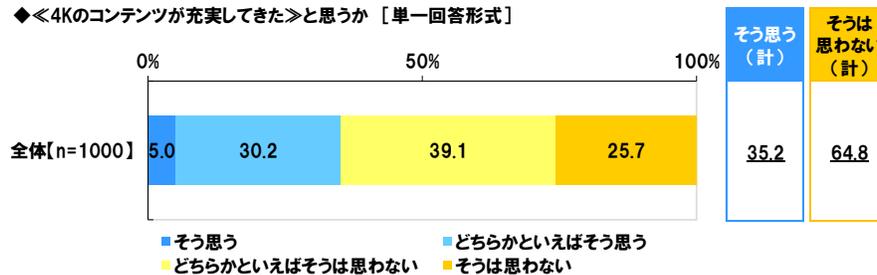
- 4Kで観たいコンテンツは? -

◆4Kコンテンツの供給「充実してきた」3割半、「未だ不足」6割半

◆4Kで楽しみたいコンテンツ1位は「音楽ライブ」2位「最新映画」3位「野球」4位「国内ドラマ」5位「五輪競技」  
 10代・20代は「4Kアニメ」、60代・70代は「4K風景映像」や「4K旅番組」を視聴希望

全回答者(1,000名)に対し、《4Kテレビのコンテンツが充実してきた》と思うか聞いたところ、『そう思う』は35.2%、『そうは思わない』は64.8%(「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」の合計)となりました。3人に1人は、コンテンツが充実してきたと感じているようですが、未だ4Kコンテンツが不足していると感じている方が多数派のようです。

◆《4Kのコンテンツが充実してきた》と思うか [単一回答形式]



では、4Kではどのようなコンテンツを楽しみたいと考えているのでしょうか。全回答者(1,000名)に、4Kで観たいものを聞いたところ、「音楽ライブ」35.0%と「最新映画(4Kで制作)」32.6%が3割台で最上位の回答に、次いで、「スポーツ(野球)」23.4%、「国内ドラマ」23.2%、「スポーツ(五輪競技)」23.1%が2割台で続きました。音楽ライブや最新の映画、スポーツやドラマなどが4Kで楽しみたいコンテンツの上位となっています。世代別にみると、10代と20代のトップ3には「アニメ」が、60代や70代のトップ3には「風景映像」や「旅番組・散歩番組」がランクインしました。世代によって4Kで楽しみたいコンテンツの傾向が異なるようです。

◆4Kで観たいコンテンツ [複数回答形式]

※全体の上位10位、世代別の上位5位までを抜粋

全体 n=1000			10代 n=142			20代 n=144		
順位	コンテンツ	%	順位	コンテンツ	%	順位	コンテンツ	%
1位	音楽ライブ	35.0	1位	音楽ライブ	39.4	1位	音楽ライブ	44.4
2位	最新映画(4Kで制作)	32.6	2位	アニメ	34.5	2位	最新映画(4Kで制作)	33.3
3位	スポーツ(野球)	23.4	3位	最新映画(4Kで制作)	28.9	3位	アニメ	30.6
4位	国内ドラマ	23.2	4位	スポーツ(野球)	24.6	4位	国内ドラマ	21.5
5位	スポーツ(五輪競技)	23.1	5位	国内ドラマ	21.8	5位	スポーツ(野球)	16.7
6位	スポーツ(サッカー)	18.8						
7位	風景映像	18.6	30代 n=142			40代 n=144		
8位	旅番組・散歩番組	17.5	1位	最新映画(4Kで制作)	38.0	1位	音楽ライブ	43.1
9位	昔の映画(4Kリマスター)	16.4	2位	音楽ライブ	37.3	2位	最新映画(4Kで制作)	37.5
10位	ドキュメンタリー	16.3	3位	スポーツ(サッカー)	29.6	3位	スポーツ(五輪競技)	23.6
			4位	スポーツ(野球)	28.9	4位	スポーツ(野球)	22.2
			5位	スポーツ(五輪競技)	28.9		国内ドラマ	
50代 n=142			60代 n=144			70代 n=142		
1位	音楽ライブ	33.8	1位	最新映画(4Kで制作)	29.9	1位	風景映像	43.0
	最新映画(4Kで制作)		2位	風景映像	28.5		旅番組・散歩番組	
3位	国内ドラマ	29.6	3位	旅番組・散歩番組	26.4	3位	ドキュメンタリー	31.0
4位	スポーツ(五輪競技)	26.1	4位	スポーツ(野球)	25.7	4位	スポーツ(五輪競技)	27.5
5位	ドキュメンタリー	23.9	5位	国内ドラマ	22.9	5位	最新映画(4Kで制作)	26.8
				スポーツ(五輪競技)			スポーツ(野球)/国内ドラマ	

- デジタルリマスターで更なる感動体験を！4Kで観たい映画ランキング -

◆4Kで観たい映画のツートップは「スター・ウォーズ」と「アナ雪」

10代・20代の1位は「ハリー・ポッター」、70代の1位は「サウンド・オブ・ミュージック」

テレビのアップコンバート機能や、フィルムのスキャニング技術の進歩によって、昔放映された映画も、4K画質で楽しむことができるようになりました。そこで、全回答者(1,000名)に、“4Kで観ることができたら、より感動する”と思う映画を聞いたところ、1位は昨年最新作が公開された「スター・ウォーズ」と、アニメーション映画として全世界歴代1位の興行収入を記録した「アナと雪の女王」が同率で並び、3位は「ハリー・ポッター」、4位は「タイタニック」と「千と千尋の神隠し」が同率となりました。世代別にみると10代・20代の1位は「ハリー・ポッター」、30代の1位は「アナと雪の女王」、40代・50代・60代の1位は「スター・ウォーズ」、70代の1位は「サウンド・オブ・ミュージック」となりました。繰り返し楽しめる名作映画も、4Kで観ることができたらこれまでとは違った感動を味わえると期待しているのかもしれません。

◆“4Kで観ることができたら、より感動する”と思う映画【複数回答形式】 ※全体の上位10位、世代別の上位5位までを抜粋

全体		
n=1000		
	映画名	%
1位	スター・ウォーズ アナと雪の女王	19.7
3位	ハリー・ポッター	18.1
4位	タイタニック 千と千尋の神隠し	16.6
6位	天空の城ラピュタ	15.7
7位	ジュラシック・パーク	13.1
8位	パイレーツ・オブ・カリビアン	13.0
9位	もののけ姫	12.8
10位	ターミネーター	12.2

10代		
n=142		
	映画名	%
1位	ハリー・ポッター	27.5
2位	アナと雪の女王	26.8
3位	千と千尋の神隠し	24.6
4位	パイレーツ・オブ・カリビアン	21.1
5位	永遠の0	19.7

20代		
n=144		
	映画名	%
1位	ハリー・ポッター	24.3
2位	アナと雪の女王	20.8
3位	天空の城ラピュタ	20.1
4位	スター・ウォーズ/ジュラシック・パーク パイレーツ・オブ・カリビアン	18.1

30代		
n=142		
	映画名	%
1位	アナと雪の女王	21.8
2位	スター・ウォーズ 天空の城ラピュタ	19.7
4位	パイレーツ・オブ・カリビアン	18.3
5位	もののけ姫/アルマゲドン バック・トゥ・ザ・フューチャー	17.6

40代		
n=144		
	映画名	%
1位	スター・ウォーズ	28.5
2位	タイタニック	23.6
3位	マトリックス	19.4
4位	アナと雪の女王	18.8
5位	アルマゲドン	18.1

50代		
n=142		
	映画名	%
1位	スター・ウォーズ	25.4
2位	バック・トゥ・ザ・フューチャー	19.7
3位	ハリー・ポッター	19.0
4位	ターミネーター	18.3
5位	タイタニック	17.6

60代		
n=144		
	映画名	%
1位	スター・ウォーズ	22.2
2位	アナと雪の女王	18.1
3位	千と千尋の神隠し	17.4
4位	サウンド・オブ・ミュージック	16.0
5位	タイタニック	14.6

70代		
n=142		
	映画名	%
1位	サウンド・オブ・ミュージック	26.1
2位	南極物語	25.4
3位	タイタニック 千と千尋の神隠し	17.6
5位	アナと雪の女王	16.9

- 4Kで魅力も4倍増し？4Kで観たら熱演・美貌が際立つ俳優ランキング -

◆4Kでより映える男性俳優は？3位「トム・クルーズ」2位「福山雅治」を抑え、トップに「渡辺謙」

男性票は「高倉健」、女性票は「ディーン・フジオカ」にも集中

◆4Kで熱演・美貌がより際立つ3大女優「北川景子」「綾瀬はるか」「吉永小百合」

細部まで細かく、色鮮やかな映像を観ることができる4Kで映画やドラマを観ると、まるで俳優が目の前にいるかのような感覚で楽しめるといわれています。そこで、“4Kで観ることができたら、熱演や美しさ・かっこよさがより際立つ”と思う男性俳優と女性俳優をそれぞれ聞いたところ、男性俳優の1位は日本だけでなく、ハリウッド映画などでも活躍する「渡辺謙」、2位は昨年結婚を発表した「福山雅治」、3位は「トム・クルーズ」、4位は「ジョニー・デップ」、5位は「竹野内豊」となりました。男女別にみると、男性の5位には健さんの愛称で親しまれる往年の銀幕スター「高倉健」、女性の4位には朝ドラで大ブレイクした「ディーン・フジオカ」がランクインしました。

女性俳優の1位は、今年結婚を発表した「北川景子」、2位は数々のドラマや映画に出演し、今や不動の人気女優となった「綾瀬はるか」、3位は「吉永小百合」、4位は「広瀬すず」、5位は「石原さとみ」となりました。

◆“4Kで観ることができたら、熱演や美しさ・かっこよさがより際立つ”と思う男性俳優 [自由回答形式]

※全体の上位10位、男女別の上位5位までを抜粋

全体			男性			女性		
n=1000			n=500			n=500		
順位	俳優名	人	順位	俳優名	人	順位	俳優名	人
1位	渡辺謙	54	1位	渡辺謙	31	1位	福山雅治	24
2位	福山雅治	45	2位	福山雅治	21	2位	渡辺謙	23
3位	トム・クルーズ	28	3位	トム・クルーズ	17	3位	竹野内豊	16
4位	ジョニー・デップ	24	4位	ジョニー・デップ	14	4位	ディーン・フジオカ	13
5位	竹野内豊	23	5位	高倉健	13	5位	トム・クルーズ	11
6位	木村拓哉	21				岡田准一		
7位	小栗旬	20				佐藤健		
8位	高倉健	19						
9位	阿部寛/岡田准一/佐藤健	18						

◆“4Kで観ることができたら、熱演や美しさ・かっこよさがより際立つ”と思う女性俳優 [自由回答形式]

※全体の上位10位、男女別の上位5位までを抜粋

全体			男性			女性		
n=1000			n=500			n=500		
順位	俳優名	人	順位	俳優名	人	順位	俳優名	人
1位	北川景子	67	1位	北川景子	23	1位	北川景子	44
2位	綾瀬はるか	50	2位	広瀬すず	18	2位	綾瀬はるか	33
3位	吉永小百合	37	3位	綾瀬はるか	17	3位	吉永小百合	25
4位	広瀬すず	32	4位	有村架純	13	4位	石原さとみ	21
5位	石原さとみ	26	5位	吉永小百合	12	5位	広瀬すず	14
6位	アンジェリーナ・ジョリー	23		アンジェリーナ・ジョリー				
7位	仲間由紀恵	18						
	天海祐希							
	有村架純							
10位	新垣結衣	17						

**- 4Kで伝わるライブ感！4Kで観たい音楽アーティスト・スポーツ選手ランキング -**

◆4Kで音楽ライブを観たいアーティスト 1位「嵐」2位「B'z」3位「SMAP」4位「Mr.Children」5位「EXILE」

◆4Kで活躍を観たいスポーツ選手 1位「羽生結弦」2位「イチロー」3位「錦織圭」4位「浅田真央」5位「本田圭佑」  
男性は「香川真司」、女性は「五郎丸歩」の活躍を4Kで観たい！

4Kで音楽ライブやスポーツ中継を観ると、まるでその場にいるかのような臨場感を覚えるといわれています。そこで、“4Kで音楽ライブを観てみたい”と思う音楽アーティストを聞いたところ、1位は“日本一ライブチケットが入手困難なアーティスト”と称されることもある、人気アイドルグループの「嵐」、2位は“日本で一番CDを売り上げたアーティスト”で、50歳を超えてなお衰えを知らないライブパフォーマンスを続ける「B'z」、3位は「SMAP」、4位は「Mr.Children」、5位は「EXILE」となりました。男女別にみると、男性の3位には「AKB48」、4位には「サザンオールスターズ」が、女性の3位には「三代目J Soul Brothers」がランクインしました。

また、“4Kで活躍している姿を観てみたい”と思うスポーツ選手を聞いたところ、1位は歴代最高得点の世界記録を持つ、フィギュアスケート選手の「羽生結弦」、2位は今年メジャー通算500盗塁を達成し、通算3,000本安打の大記録も目前となった「イチロー」、3位は「錦織圭」、4位は「浅田真央」、5位は「本田圭佑」となりました。男女別にみると、男性の3位にはドルトムントで活躍する「香川真司」が、女性の5位には、今シーズンから海外に活躍の場を移した「五郎丸歩」がランクインしました。

◆“4Kで音楽ライブを観てみたい”と思う音楽アーティスト [自由回答形式] ※全体の上位10位、男女別の上位5位までを抜粋

全体			男性			女性		
n=1000			n=500			n=500		
	音楽アーティスト	人		音楽アーティスト	人		音楽アーティスト	人
1位	嵐	58	1位	B'z	17	1位	嵐	52
2位	B'z	30	2位	Mr.Children	16	2位	EXILE	17
3位	SMAP	25	3位	AKB48	14	3位	SMAP	16
4位	Mr.Children	24	4位	サザンオールスターズ	12		三代目J Soul Brothers	16
5位	EXILE	23	5位	SMAP	9	5位	B'z	13
6位	サザンオールスターズ	21						
7位	福山雅治	18						
8位	三代目J Soul Brothers	17						
9位	AKB48	16						
	いきものがかり							

◆“4Kで活躍している姿を観てみたい”と思うスポーツ選手 [自由回答形式] ※全体の上位10位、男女別の上位5位までを抜粋

全体			男性			女性		
n=1000			n=500			n=500		
	スポーツ選手	人		スポーツ選手	人		スポーツ選手	人
1位	羽生結弦	99	1位	イチロー	66	1位	羽生結弦	85
2位	イチロー	97	2位	錦織圭	35	2位	錦織圭	51
3位	錦織圭	86	3位	香川真司	17	3位	浅田真央	34
4位	浅田真央	42	4位	羽生結弦	14	4位	イチロー	31
5位	本田圭佑	25	5位	本田圭佑	13	5位	本田圭佑	12
6位	香川真司	23					五郎丸歩	
7位	五郎丸歩	22						
8位	前田健太	16						
9位	大谷翔平	14						
10位	田中将大	13						

■ 調査概要 ■

〈調査タイトル〉

4Kに関する調査 2016

〈調査地域〉

全国

〈調査対象〉

ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする  
テレビを週に1日以上見ることがある15歳～79歳の男女

〈調査期間〉

2016年4月30日～5月4日

〈調査方法〉

インターネット調査

〈有効回答数〉

1,000 サンプル

(内訳)

男性 500名(10代 71名 / 20代 72名 / 30代 71名 / 40代 72名 / 50代 71名 / 60代 72名 / 70代 71名)

女性 500名(10代 71名 / 20代 72名 / 30代 71名 / 40代 72名 / 50代 71名 / 60代 72名 / 70代 71名)

〈実施機関〉

ネットエイジア株式会社 (調査協力 ネットエイジア株式会社 担当 吉田)

■ 報道関係の皆様へ ■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
「スカパー！調べ」と付記のうえ  
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■ 本調査に関するお問合せ窓口 ■

スカパーJSAT 株式会社 プラットフォーム広報部 パブリシティ・ソーシャルチーム  
広報担当 TEL:03-5571-7493 FAX:03-5571-1749 E-mail:promotion-pr@sptvjsat.com

■ スカパーJSAT 株式会社 概要 ■

組織名 :スカパーJSAT 株式会社  
代表者名:代表取締役 執行役員社長 高田 真治  
設立 :1994年11月10日  
所在地 :東京都港区赤坂 1-14-14  
事業内容:有料多チャンネル事業、宇宙・衛星事業